

第64回日本美術教育学会学術研究大会 静岡大会

今日の学校教育の問題は、試験の結果がすべてだという評価のシステムにある。美術教育についても同じことが言える。美術教育にとって重要なことは、いかにして子どもの豊かな感性を引き出すかということに尽きる。作品とは美術教育の現場での子供と教師の格闘の軌跡であり、たまたまの結果でしかない。そこに優劣を問うべきではなかろう。しかし、がっぷりと四つに組んだ勝負ならば、必ずや観客をわかすはずである。静岡大会での「過程としての教科」のテーマを、わたしはそうに理解したい。

日本美術教育学会会長 神林 恒道

◇ 開催日時 **2015年8月10日（月）・11日（火）**

◇ 会 場 **MOA美術館**

〒413-8511 静岡県熱海市桃山町26-2 TEL0557-84-2511（代）
JR熱海駅バスターミナル8番乗り場 MOA美術館行きバスで約7分

◇ 大会 テーマ

「授業を変える『結果としての教科』から『過程としての教科』へ」

◇ 基調提案 鈴木 秀幸（磐田市立磐田第一中学校 教頭）

◇ 共同討議

コーディネーター 芳賀 正之（静岡大学教育学部 教授）

パネリスト 藤田 雅也（名古屋経済大学短期大学部 准教授） 新野 貴則（山梨大学教育学部 准教授）
矢代 勝也（MOA美術館 学芸次長） 杉坂 洋嗣（函南町立函南東中学校 教諭）
有川 貴子（静岡大学教育学部附属浜松小学校 教諭）

◇ 記念講演 8月10日（月）13：35～15：00

無料一般公開
（申込不要）

「美術教育における工芸の役割」

室瀬 和美 氏（漆芸家、重要無形文化財保持者（人間国宝））

◇ 参加費

	事前申込		当日申込		懇親会
	両日参加	1日参加	両日参加	1日参加	
会 員	4,000円	3,000円	4,500円	3,500円	6,000円 割引対象ではありません。
一 般	4,500円	3,500円	5,000円	4,000円	
学 生	1,500円	500円	2,000円	1,000円	

※美術科教育学会及び大学美術教育学会の会員の方は本会員扱いとなります。

※事前申し込み割引：7月31日までに大会参加申し込みと参加費の振り込みをした場合は参加費を500円引き致します。

◇ 参加費・懇親会費・昼食費 振込先 郵便局 口座番号 00930-1-96033 口座名称 日本美術教育学会
（他金融機関から）ゆうちょ銀行 ○九九店 当座 96033 日本美術教育学会

主催：日本美術教育学会 共催：MOA美術館

後援：静岡県教育委員会・熱海市教育委員会

協力：造形芸術教育協議会（美術科教育学会・大学美術教育学会）

◆日程・内容

《第1日》8月10日（月）

9:00～9:30	受付 (2F 能楽堂前)	9:30～9:50	開会・挨拶 (2F 能楽堂)	神林 恒道 (会長)、鈴木 英司 (大会委員長) 内田 篤呉 (MOA美術館長)
9:55～10:25	基調提案 (2F 能楽堂) 鈴木 秀幸 (大会副委員長・磐田市立磐田第一中学校 教頭)			
10:35～12:00	共同討議 I (2F 能楽堂) コーディネーター パネリスト 芳賀 正之 (静岡大学教育学部 教授) 藤田 雅也 (名古屋経済大学短期大学部 准教授) 矢代 勝也 (MOA美術館 学芸次長) 有川 貴子 (静岡大学教育学部附属浜松小学校 教諭)			
12:00～12:30	会員総会 (2F 能楽堂)			
12:30～13:30	昼食 (各分科会場)・教材展示 (3F 分科会場前)・美術館見学 (1F～3F)、庭園散策等			
13:35～15:00	記念講演 【無料一般公開】 (2F 能楽堂) 「美術教育における工芸の役割」 室瀬 和美 氏 (漆芸家、重要無形文化財保持者 (人間国宝))			
研究発表	分科会 A (能楽堂)／分科会 C (応接室2)		分科会 B (応接室1)／分科会 D (応接室3)	
15:10～15:45 (発表25分、 質疑10分) 能：能楽堂 応1：応接室1 応2：応接室2 応3：応接室3	A1 能	図工・美術でつなぐ「人・もの・こと」 ～これまでそして、これから～ 道越 洋美 (静岡県藤枝市立広幡中学校 教諭)	B1 応1	空間認知を培う造形教材の開発 廣瀬 敏史 (東海学院大学人間関係学部 准教授) 白山 真澄 (東海大学短期大学部 准教授)
	C1 応2	言語性と造形性の葛藤から見る書教育の構成について 中村 寿樹 (雲雀丘学園中高等学校 教諭)	D1 応3	粘土場と朝の園庭環境による場の保育 前嶋 英輝 (吉備国際大学アニメーション文化学部 准教授)
15:50～16:15 (発表25分、 質疑10分) 能：能楽堂 応1：応接室1 応2：応接室2 応3：応接室3	A2 能	鑑賞学習指導の現状 ～11年振りの全国調査より～ 松岡 宏明 (関西国際大学教育学部 教授) 藤田 雅也 (名古屋経済大学短期大学部 准教授)	B2 応1	ことづくり視点で探る美術教育の可能性 多田 俊二郎 (さぬき生活文化振興財団 代表理事)
	C2 応2	中学校美術教育の基礎的・基盤的研究1-2 ーハーバート・リードの芸術教育思想、その心理学的基盤についてー 由良 知彦 (京都市立桂中学校 教諭)	D2 応3	仮想空間におけるCG学習の差異と協成 浅野 恵治 (東京都立橋高等学校 主幹教諭)
16:20～16:55 (発表25分、 質疑10分) 能：能楽堂 応1：応接室1 応2：応接室2 応3：応接室3	A3 能	屏風「落葉」を見て、日本画を描いた生徒はどう変わったのか ーマッキー先生と福井の挑戦 その2ー 牧井 正人 (福井県観光営業部文化振興課 主任)	B3 応1	表現活動における人間形成ー木村素衛の「表現愛」の思想を手がかりとしてー 門前 斐紀 (京都大学こころの未来研究センター 研究員)
	C3 応2	他者との関わりを通して自他の表現の良さに気付く生徒の育成 志藤 浩仁 (新潟市立赤塚中学校 教諭)	D3 応3	宮沢賢治の世界を製作と他者のかかわりから広げる鑑賞活動 宮木 友香 (静岡県磐田市立磐田北小学校 教諭)
17:00～17:35 (発表25分、 質疑10分) 能：能楽堂 応1：応接室1 応2：応接室2 応3：応接室3	A4 能	グローバルコミュニティに向けた日本の伝統文化の指導法開発ー台湾における水墨画と備前焼の鑑賞授業の成果をふまえてー 山口 健二 (岡山大学教育学部 教授) 赤木里香子 (同 准教授) 大橋 功 (同 教授)	B4 応1	地域を題材にした21世紀型美術科協働プロジェクト学習の実践研究 馬淵 哲 (滋賀大教育学部附属中学校 教諭)
	C4 応2	子供の表現を拓くための保育環境の在り方 武田 真理子 (聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園) 太田雅子 (聖隷クリストファー大学)	D4 応3	「見る」から「見せる」までー高等学校と美術館の連携による、4ステップを通した学びの可能性ー 本丸 生野 (姫路市立美術館 学芸員)
17:35～	懇親会 会場 KKRホテル熱海寿 熱海市春日町7-39 TEL: 0557-85-2000 バス乗車 17:50～18:00 (美術館入り口) 懇親会会場までバスが出ます。(2台)			

9:00～9:30	受 付（2 F 能楽堂前）			
研究発表	分科会 A（能楽堂）／分科会 C（応接室 2）		分科会 B（応接室 1）／分科会 D（応接室 3）	
9:30～10:05 （発表25分、 質疑10分） 能：能楽堂 応 1：応接室 1 応 2：応接室 2 応 3：応接室 3	A 5 能	美術科教育は「第三の道」を切り開けるか？ ー市民社会と立憲主義をめぐる再帰的美術科教育の構想ー 藤原 智也 （愛知県立大学教育福祉学部 講師）	B 5 応 1	「過程としての教科」を確立するための「美術 I」の在り方 黒木 健 （秋田県立西目高等学校 教諭）
	C 5 応 2	科学とアートのベクトルー西堀榮三郎記念探検の殿堂での展覧会企画を通してー 垣見 敏雄 （東近江市立能登川中学校 教諭）	D 5 応 3	保育者・保護者の意識が「結果」から「過程」へと変わるための仕掛け 森田 ゆかり （金城大学短期大学部幼児教育学科 教授）
10:10～10:45 （発表25分、 質疑10分） 能：能楽堂 応 1：応接室 1 応 2：応接室 2 応 3：応接室 3	A 6 能	美術による学びで培う人間形成 ー21世紀型能力を育む美術による学びー 竹内 利枝 （仙台市立郡山中学校 教諭）	B 6 応 1	アメリカの 2 冊の本に於けるDBAEの考察 下森 勇二 （無所属 2015年 3 月まで中学校教諭）
	C 6 応 2	美術教育の貢献と可能性 ～カンボジア美術教育の胎動～ 鈴木 光男 （東京未来大学こども心理学部 教授）	D 6 応 3	アート教育における知的財産法に関する一考察 澤井 雅史 （京都府立聾学校高等部京都アート科 教諭）
10:50～11:25 （発表25分、 質疑10分） 能：能楽堂 応 1：応接室 1 応 2：応接室 2 応 3：応接室 3	A 7 能	知覚と表現の関係に着目した「表現タイプ」の分類についてー幼児、中学生、大学生の「歯磨きの絵」を通しての検討ー 大橋 功 （岡山大学教育学部 教授）	B 7 応 1	
	C 7 応 2		D 7 応 3	Can doを育む教科指導 ～できる喜びから学ぶ意欲へ～ 榎本 徳裕 （京都市立下京中学校 教諭）
11:30～12:30	昼食・休憩・教材展示（3 F）			
12:30～15:00	体験プログラム（先着順で受付ます） A コース：お花体験（20人× 3 グループ）…材料代500円が必要です。お花のお持ち帰りはできません。 B コース：茶の湯体験（15人× 3 グループ）…材料代500円が必要です。 C コース：光琳屋敷見学（15人× 3 グループ） +浮世絵鑑賞（体験者共通）			
15:10～16:10	◇共同討議（2 F 能楽堂） コーディネーター パネリスト 芳賀 正之 （静岡大学教育学部 教授） 藤田 雅也 （名古屋経済大学短期大学部 准教授） 新野 貴則 （山梨大学教育学部 准教授） 杉坂 洋嗣 （函南町立函南東中学校 教諭）			
16:20～16:45	総括 （2 F 能楽堂） 神林 恒道 （日本美術教育学会会長・大阪大学名誉教授）			
16:45～17:00	次期開催地挨拶（滋賀）及び閉会（2 F 能楽堂）			

◇ **参加申込方法** 学会ホームページのフォームから申し込むか、参加申込書（裏面）にご記入の上、明記された申し込み先にFAXまたは郵送してください。

※事前申し込みをいただいても、事前に振り込みがない場合は割引が適用されませんのでご注意ください。

※今回の大会参加から学会入会希望の方は、参加申込書の所定の欄にチェックを入れてください。会員料金になります。また、学会入会には日本美術教育学会ホームページをご利用ください。

◇ **参加申し込み先** 日本美術教育学会事務局 * ネット申込が便利です

HP <http://www.aesj.org> FAX：075-802-7871（非通知は受信出来ません）

◇ **問い合わせ** 静岡大会実行委員会 E-mail:office-shizuoka@aesj.org

■ MOA美術館へのアクセス

JR熱海駅バスターミナル

8 番乗り場からMOA美術館行きバスで
約 7 分です。

■ KKRホテル熱海（懇親会会場）までのアクセス

MOA美術館から大型バス 2 台で送迎します。

（行きのみです）

熱海駅から海に向かって徒歩 7 分程度の所です。

KKRホテル熱海

■ 体験プログラムについて

お花と茶の湯体験には材料代として500円が必要です。
またお花はお持ち帰りが出来ません。
また希望者が多い場合は、体験出来る数が限られて
おりますので、先着順とさせていただきます。
御了承下さい。



第64回 日本美術教育学会学術研究大会（静岡大会）参加申込書

※氏名	ふりがな	※	☐ 会員 ☐ 一般 ☐ 学生 ☐ 今回から入会を希望します
名	会員番号 (封筒宛名の下に表示されています)		
所属先	(学生の場合は学校名を記入、学校名が無記名の場合は学生扱いしません。)	※参加日	(○をつけてください) 両日参加 ・ 10日のみ参加 ・ 11日のみ参加
E-mailアドレス (お持ちの方は必ず)			
※住所	〒		
	TEL — —		
※ 懇親会 (○をつけてください) 参加 ・ 不参加		所属学会名 (○をつけてください) 日本美術教育学会・美術科教育学会・大学美術教育学会	
※体験プログラム	第一希望 <希望するものに○印> A・お花 B・茶の湯 C・光琳屋敷見学	第二希望 <希望するものに○印> A・お花 B・茶の湯 C・光琳屋敷見学	
※昼食注文 (お茶付き ¥1,000)	両日注文する・10日のみ注文する・11日のみ注文する・注文しない (美術館内のレストランは一般利用者向けにつき、学会参加者はご利用出来ません。)		

◇このページをFAXまたは郵送してお申し込みください。 ※は必ずご記入ください。

◇郵送：〒600-8371 京都市下京区西門前町426-902 石川和代気付 日本美術教育学会事務局宛

◇FAX：075-802-7871 (非通知は受けられません) 学会ホームページ (<http://www.aesj.org>) のフォームで申し込むこともできます。